

特別警報が発表されたら…

ただちに命を守るための行動をとってください!

特別警報が出た場合、お住まいの地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。周囲の状況や村から発表される避難指示・避難勧告などの情報に留意し、すぐに避難場所へ避難するか、すでに外出が危険な状態に達している場合には、無理をせずに家の中のより安全な場所にとどまる等、ただちに命を守るための行動をとってください。

特別警報の発表基準

現象の種類	発表基準	大雨・暴風・高潮・波浪・大雪・暴風雪
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、または、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合。	「警報」の発表基準よりもはるかに危険度が高い場合に、「大雨特別警報」「暴風特別警報」「波浪特別警報」といった表現で発表します。なお、「洪水」は、全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により、暴風が吹くと予想される場合。	「警報」の発表基準よりもはるかに危険度が高い場合に、「大雨特別警報」「暴風特別警報」「波浪特別警報」といった表現で発表します。なお、「洪水」は、全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。
高潮	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により、高潮になると予想される場合。	「警報」の発表基準よりもはるかに危険度が高い場合に、「大雨特別警報」「暴風特別警報」「波浪特別警報」といった表現で発表します。なお、「洪水」は、全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。
波浪	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により、波浪になると予想される場合。	「警報」の発表基準よりもはるかに危険度が高い場合に、「大雨特別警報」「暴風特別警報」「波浪特別警報」といった表現で発表します。なお、「洪水」は、全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。
暴風雪	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合。	「警報」の発表基準よりもはるかに危険度が高い場合に、「大雨特別警報」「暴風特別警報」「波浪特別警報」といった表現で発表します。なお、「洪水」は、全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合。	「警報」の発表基準よりもはるかに危険度が高い場合に、「大雨特別警報」「暴風特別警報」「波浪特別警報」といった表現で発表します。なお、「洪水」は、全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合。 →大津波警報を特別警報に位置づける。	津波、地震については、従来からの警報のうち、危険度が非常に高いレベルのものを特別警報に位置づけますが、名称に「特別警報」は使いません。「〇〇特別警報」という表現ではなく、従来の名称のまま発表します。例えば、大津波警報が発表されたときは、それが津波に関する特別警報が発表されたという意味になります。
地震(地震動)	震度6弱以上の大きな地震動が予想される場合。 →緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける。	津波、地震については、従来からの警報のうち、危険度が非常に高いレベルのものを特別警報に位置づけますが、名称に「特別警報」は使いません。「〇〇特別警報」という表現ではなく、従来の名称のまま発表します。例えば、大津波警報が発表されたときは、それが津波に関する特別警報が発表されたという意味になります。

※噴火警報レベルを運用している火山では「噴火警報(居住地域)」「噴火警報レベル4または5(居住地域)」「噴火警報レベル5(居住地域)」を運用している火山では「噴火警報(居住地域)」「噴火警報レベル4または5(居住地域)」を特別警報に位置づけています。

一時避難場所一覧

地区	名称	地区	名称	地区	名称
下分	光岩集会所	本郷	妹背集会所	沖名	南込山集会所
下分	小村集会所(日下公民館(下分分館))	本郷	梅ヶ坂集会所	沖名	沖名集会所
下分	下分ふれあいプラザ	本郷	本郷消防屯所	沖名	宮谷集会所
下分	西田老人憩いの家	本郷	本郷多目的集会所	沖名	北込山集会所
下分	暮月集会所	本郷	大和田集会所	沖名	猿田集会所
下分	八坂集会所	本郷	日高中学校	沖名	産業郷土資料館
下分	国岡集会所	本郷	本郷ふれあいプラザ	岩目地	井峯下谷集会所
下分	中村集会所	本郷	西越老人憩いの家	岩目地	平野集会所
下分	江尻集会所	本郷	宇井集会所	岩目地	竜石集会所
下分	日高養護学校	本郷	本郷ふれあいプラザ	岩目地	岩目地ふれあいプラザ
下分	鍛冶屋集会所	本郷	高齢者ふれあいスポーツセンター	岩目地	加茂保育園
下分	奥ノ谷集会所	沖名	日下保育園	岩目地	岩目地東集会所
下分	大橋東集会所	沖名	日高村社会福祉センター	岩目地	加茂中学校
本郷	日高村商工会	沖名	田福集会所	岩目地	加茂小学校
本郷	木屋ヶ谷集会所	沖名	長崎集会所	九頭	九頭集会所
本郷	駅前集会所	沖名	大川内集会所		
本郷	コスモス農協日高支所	沖名	石田集会所		
本郷	父原集会所	沖名	渋川集会所		



- #### 施設等凡例
- 避難所
 - 一時避難場所
 - 福祉避難施設
 - ヘルポート
 - 備蓄倉庫
 - 診療所
 - 警察
 - 消防
 - 雨量観測所
 - 水位観測所
 - 国道
 - 主要道路
 - 日下川放水路等

- #### 平成26年台風による被害状況
- 平成26年8月台風による浸水区域
- #### 土砂災害危険箇所等
- 土石流被害想定範囲
 - 急傾斜地崩壊危険箇所
 - 地すべり危険箇所
- #### 土砂災害警戒区域
- 急傾斜地の崩壊
 - 土石流
- 土砂災害警戒区域とは、土砂災害により、住民の生命または身体に危害が生じるおそれのある区域を指します。

土砂災害の種類と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ、がけ崩れや土石流、地すべりといった土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。また、土砂災害には前兆現象があります。前兆現象を確認したら速やかに避難してください。

	がけ崩れ	土石流	地すべり
土砂災害の種類には、大きく分ける3つのタイプがあります。自分の周りの土砂災害危険箇所がどのタイプであるか確認しておきましょう。			
地中にしみ込んだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。突然起きるため、家の付近で起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。	大雨や集中豪雨などによって、山や川の石と砂が水と一体となって一気に下流へ押し流される現象です。	大雨や長雨等により雨水が地面にしみこみ、水の力によって持ち上げられた地盤が広い範囲にわたりゆっくりと動きだすものをいいます。	

こんなときは要注意 土砂災害の前兆(前兆現象)

五感	移動主体	がけ崩れ	土石流	地すべり
視	山・斜面・がけ	●がけが割れ目が見える。 ●がけから小石がバラバラと落ちる。 ●斜面がはらみだす。	●深流付近の斜面が崩れた。 ●落石が生じる。	●地面にひび割れができる。 ●地面の一部が落ち込んだり盛り上がったりする。
	水	●表面流が生じる。 ●がけから水が噴き出す。 ●湧水が濁ります。	●川の水位が異常に激しくなる。 ●雨が降り続けているのに川の水位が下がる。 ●土砂の流出。	●沢や井戸の水が濁る。 ●斜面から水が噴き出す。 ●池や沼の水が急激に急流する。
覚	樹木	●樹木が傾く。	●濁水に流木が混じります。	●樹木が傾く。
	その他	—	●深流内の火花。	●家や塀壁に亀裂が入る。 ●塀壁や電柱が傾く。
音	音	●樹木の根が切れる音がある。 ●樹木の揺れる音がある。 ●地鳴りがする。	●地鳴りがする。 ●山鳴りがする。 ●転石のぶつかり合う音。	●樹木の根が切れる音がある。
		●樹木の根が切れる音がある。	●樹木の根が切れる音がある。	●樹木の根が切れる音がある。
におい	—	●腐った土のにおいがある。	—	—

※上記は一般的な前兆です。すべての場所において必ず起きるというものではありません。

福祉避難施設一覧

地区	名称
小村	グループホーム輪が家
奥ノ谷	グループホームひだかの里
長崎	日高村ふれあいセンター
長崎	コスモス

洪水時の避難

●歩ける深さは男性で約70cm、女性で約50cm。水深が腰まであるようなら無理は禁物です。高所で救助を待ちましょう。

●水面下どんな危険が潜んでいるかわからないので、長い棒を杖代わりに歩きましょう。

●裸足、長靴は禁物。細い体をロープで結んで避難しましょう。特に子どもから目を離さないように！

●お年寄りや身体の不自由な人などは背負いましょう。幼児は浮き袋等を使い、しっかり安全を確認して避難させましょう。

水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければなりません。そのような場合は、避難場所への移動(水平避難)だけでなく、近隣ビルの高層階や自宅の3階といった高い場所への移動(垂直避難)を行い、救助を待つという判断も必要です。

危険な避難 (Walking through floodwaters)

避難場所への避難(水平避難) (Moving to a safe building)

高所への避難(垂直避難) (Moving to a high floor)

非常持ち出し品について

いざというときに備えて、1週間分を目安に用意

食料	救急・安全対策	貴重品
<input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日3Lを目安) <input type="checkbox"/> 非常食(缶詰、乾かし、レトルト食品など) <input type="checkbox"/> 携帯食(チョコレート、キャンディーなど) <input type="checkbox"/> 粉ミルクと哺乳瓶(赤ちゃんがいる場合)	<input type="checkbox"/> 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など) <input type="checkbox"/> 包帯、ガーゼ、絆創膏 <input type="checkbox"/> 傷薬、消毒薬 <input type="checkbox"/> 持病のある方の薬 <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ずきん <input type="checkbox"/> ホイッスル	<input type="checkbox"/> 現金(小銭) <input type="checkbox"/> 預貯金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> クレジットカード類 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 免許証など(身分を証明するもの) <input type="checkbox"/> 権利証書
衣類など	日用品など	
<input type="checkbox"/> 衣類(厚手の物と薄い物) <input type="checkbox"/> 下着類 <input type="checkbox"/> タオル、毛布 <input type="checkbox"/> 手袋、軍手 <input type="checkbox"/> 寝袋 <input type="checkbox"/> 雨具	<input type="checkbox"/> ポリ袋(ビニール袋) <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ろうそく、ライター <input type="checkbox"/> ナイフ、缶切り <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ <input type="checkbox"/> 懐中電灯(予備電池) <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(予備電池)	<input type="checkbox"/> 布ガムテープ <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> 地図(ハザードマップ) <input type="checkbox"/> メガネ <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 生理用品

この他に、災害復旧までの数日間分(最低1週間分)の水と食料を、非常備蓄として準備しておきましょう。

災害伝言サービス

地震や洪水などの災害発生時に、通信各社では以下のサービスを開設します。安否の確認や避難場所情報の確認にご利用ください。

災害用伝言ダイヤル

録音するときは **171** をダイヤルする
再生するときは **2** をダイヤルする

被災地の方も、被災地以外の方も
被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルする

伝言を入れる
伝言を聞く

災害用伝言板サービス

携帯電話・PHSのインターネット接続機能で、被災地の方が伝言を文字によって登録し、携帯電話・PHS番号をもとにして全国から伝言を確認することができます。(スマートフォンでのご利用については、各社のページでご確認ください)

災害用ブロードバンド伝言版(web171) <https://www.web171.jp/> 左記URLへアクセスし、案内に従って操作してください。

パソコンやスマートフォン等から、固定電話番号や携帯電話・PHS番号を入力して安否情報(伝言)の登録、確認を行います。

このマップについて

このマップは、平成26年8月の豪雨の影響を踏まえ、内水はん濫のおそれがある区域を示しています。また、大雨時には土砂災害も発生するおそれがあることから、土砂災害危険箇所も示しています。

- いざという時に備え、日頃から大雨による浸水や土砂災害など、災害が発生する恐れのある箇所などを把握しておき、自宅から避難場所までの経路や、家族の連絡先を確認しておいてください。
- 雨の降り方や浸水の状況に注意して、危険を感じた時には早めの避難を心がけてください。夜中に避難することは困難なため、事前に避難することが重要です。
- 村から避難準備情報が出されたときには、非常持出品などを準備して、避難勧告や避難指示が出されたときには、すみやかに避難してください。
- マップに示した区域以外の場所でも、浸水や土砂災害が発生することがあるので注意してください。